

講義名	財務会計論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	井上 定子		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	13035

### 主題と概要

会計には、企業の外部の利害関係者（株主、取引先、消費者など）に対して情報を提供する財務会計分野と、内部の利害関係者（経営者）に対して情報を提供する管理会計分野がありますが、本授業では前者について学習します。財務会計は、財務諸表（貸借対照表や損益計算書）を通じて、外部の人々に企業活動を忠実に開示する役割を主に果たしてきましたが、現在では会計（制度）の変化が企業活動自体に変化をもたらしているということも事実です。そこで本授業では、単に財務会計の基礎知識を学習するだけではなく、新聞やニュースで取り上げられた会計に関する記事を中心に、財務会計の基本的役割とそれが企業経営に与える影響を解説・確認することを通じて財務会計の基礎を学んでいきます。本講義では、まず、簿記の基本を復習することを通じて、簿記の知識を財務会計へとむすびつけます。その上で、社会における会計の役割、財務諸表の仕組み、そして財務会計の基礎理論を構築している企業会計原則を学習していきます。

### 到達目標

- ・簿記の知識から発展させ財務会計の基礎知識を学ぶこと。
- ・新聞記事やニュースで取り上げられる会計関連記事を読み、理解できるようになること。

### 提出課題

講義内容の理解度を確保するため、講義中にミニテストを数回行うとともに、中間試験を2回実施します。なお、ミニテストおよび中間試験の受験は実施当日しか認めませんので、注意して下さい。

### 評価の基準

- ・中間試験（60％）：授業内容の理解度を確保するための演習問題
  - ・定期試験（30％）：授業内容の理解度を確保するための演習問題
  - ・授業への貢献度（10％）：参加意欲、発言など
- 以上の3項目を加味して評価を行います。

### 履修にあたっての注意・助言他

**注意**

- ・私語厳禁（他の履修者の邪魔になります）
- ・配布資料は毎回持参すること注意
- ・出席カードおよびミニテストは配布時点で着席していない学生には配布しませんので注意してください。

**助言**

「基礎簿記」を履修済みあるいは履修中であること、あるいは、日商簿記検定3級の知識があることが望ましいと考えます。

### 教科書

.使用しない。

### プリント資料及び参考文献

テキストを使用しない代わりに、プリントを使用します。プリントは講義中にのみ配布しますので、その点に注意して下さい。

参考文献は以下のとおりですが、適宜、講義中に紹介します。

- ・郡司健『現代財務会計のエッセンス』中央経済社、2017年.
- ・川本淳他『はじめて出会う会計学 [新版]』有斐閣、2015年.
- ・桜井久勝・須田一幸『財務会計・入門 第10版』有斐閣、2015年.

### 授業計画

1. 簿記の基本（1）：簿記の種類、役割、仕組み
2. 簿記の基本（2）：簿記の一巡の流れ（仕訳、転記、試算表への集計、決算など）
3. 貸借対照表（1）：貸借対照表の構成要素について（資産・負債・純資産）
4. 貸借対照表（2）：貸借対照表の仕組みについて
5. 損益計算書：損益計算書の構成要素（費用・収益）と仕組みについて
6. 損益計算書と貸借対照表の関係について
7. 1から6までの講義のまとめと演習問題（中間試験）
8. 会計の役割（1）：企業の経済活動と会計の関係性について（トライアングル体制）
9. 会計の役割（2）：利害調整機能、意思決定支援機能、会計責任遂行の機能
10. 企業会計原則（1）：真実性の原則
11. 企業会計原則（2）：正規の簿記の原則、明瞭性の原則
12. 企業会計原則（3）：継続性の原則、保守主義の原則
13. 企業会計原則（4）：資本・利益区分の原則
14. 企業会計原則（5）：単一性の原則、重要性の原則
15. 8から14までの講義のまとめと演習問題（中間試験）

\* 講義の進捗度により、講義内容や中間試験の実施時期が変更する場合があります。 .

### 予習・復習

復習を中心とした学習を行っていただくことが重要です。講義中に、講義内容の理解を確認するためにミニテストを実施することがあります。このテストを自身の理解度を確保する目安にしてください。そして、このミニテストでわからないことは、必ず当日あるいは次回の講義までに質問を行い、自身の疑問点を解決するように努めてください。このような復習の積み重ねが講義全体の理解につながります。また、2回実施します中間試験および定期試験の試験対策としても、毎回の講義内容についての理解の積み重ね（復習）が

### 備考